

公開授業学習指導案

指導者	教科	科目	単位数	時限	使用教室
土井 聡 ・ 西尾 麻衣子	地理歴史・芸術	地理総合・美術 I	2	3	16H
学年・H(列)	生徒数	使用教材			
1学年6H	40名	地理総合(東京書籍)・地理院地図・今昔マップ・Google Earth・RESAS・自作教材・歌川広重作品「品川 日之出」など			

＜本時の計画＞ 全体計画 2 時間、本時…1/2

主 題	・地理総合と美術 I の教科横断型授業「浮世絵を通して時代と空間をつなぐ」 ・浮世絵にみる芸術と技術、「品川 日之出」が語る地域の変遷 ・東京・品川を題材として歌川広重は、何を見たのか。私たちは何を見るのか。			
目 標 及び 評価規準	1. 歌川広重の浮世絵作品の芸術的・技術的特徴を理解し、「品川 日之出」から、当時の品川の景観・生活を読み取ることができる。【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 2. 浮世絵から読み取れる地形と明治以降の変遷要因（鉄道、埋立、高台利用）を関連付け、品川の多層的な空間利用について考察できる。【知識・技能、思考・判断・表現】			
	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導 入	・本時のねらいと進め方を確認する。	・教科横断型授業であること、授業のテーマを説明する。		
展 開	・浮世絵の技法や役割について学び、歌川広重の作品を鑑賞しながら構図や色彩など自分なりの見方や感じ方を深める。 ・浮世絵に描かれた風景から、時代背景や技術水準、世界との関わりなど様々な事象が読み取れることを学ぶ。	美術からのアプローチ		・発問に対する生徒の回答内容を確認する。 ・生徒の様子を確認する。
		・浮世絵における技法、構図や色彩などを捉えて、生徒たちが自分なりの見方や感じ方を深めることができるように説明をする。 ・歌川広重の浮世絵から時代背景や技術水準、世界との関わりなど多様な事象が読み取れることを伝え、多角的な視点で、探究的な学習ができるように促す。	・浮世絵の技法、構図や色彩などを捉えて、自分なりの見方や感じ方を深めている。【思・判・表】【主体的】 ・浮世絵から技術や歴史、世界との関わりなど多角的に捉えようとしている。【思・判・表】【主体的】	
	・浮世絵による品川、今昔マップを利用した品川を考える。 ・御殿山がどのような場所だったのか考える。	地理からのアプローチ		・行動観察 ・SLIDO
		・江戸時代の品川を解説する。 ・日本初の鉄道の車窓からの風景間について発問する。 ・「御殿山」の地名に注目させ、今昔マップを利用して地域	・ペアワーク、グループワークなどで対話的学習を実現させているか。【知・技、思・判・表】	

	・大正～昭和にかけての品川の変遷を今昔マップで概観する。	の景観を考察させる。地形の読み取りで景観に気づかせる。 ・埋立地が増加したこと、京浜工業地帯の一角であったことを理解させる。		
まとめ	・本時の学習を振り返り、次回の活動内容を確認する。	・本時の学習を振り返る。 ・次時、品川区の人口状態、日本経済の変遷を考え、品川を探究することを伝える。		・個人レポート (Google Form)